

令和3年度

これからの子育て支援

～安心して子育てができるまちを目指して～

本格的な少子・人口減少社会の到来を迎え、自治体は子育てをめぐる様々な課題に直面しています。また、子育て世代包括支援センターを拠点とした、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の体制を確保することが求められています。

この研修では、地域における子育て支援の現状や課題を把握し、先進事例等を通じて、すべての子どもや子育て家庭が安心して豊かに暮らせるまちづくりの実現を目指した子育て支援について考えます。

研修のポイント

- 子育て支援政策の変遷を学び、これから地域に求められる子育て支援施策について考える。
- 地域に必要な子育て支援の場づくりに先進的に取り組んで来た団体の取り組み事例から、利用者視点の支援について学ぶ。
- 子育て世代包括支援センターに求められる役割や効果的な運用について学ぶ。
- 先進自治体の取り組み事例から、自らの自治体に必要な支援事業のヒントを得る。
- 持ち寄り事例をもとに現場の課題を共有し、その対応策を検討することで実践力の向上を目指す。

開催要領

日 程

令和3年8月17日(火)～8月19日(木) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

少子化対策、子育て支援業務に携わる市町村等(保育士・幼稚園教諭含む)の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議していただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和3年7月7日(水)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等がございましたら、ご遠慮なくご相談ください。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
 議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
 ※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付となる場合もございますので、ご了承ください。
 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和3年

8月

17日(火)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 子育て支援にかかわる自治体職員に求められる力
～子育て家庭を地域で支えるために～

淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科 教授 柏女 霊峰 氏

子ども・子育て支援新制度の概要と意義、地域における子育て支援の現状と課題、子育て業務に携わる自治体職員に求められる知識や能力などについてお話しいたします。

15:50~17:20

講義 子育て支援最前線
～地域子育て支援の現場から～

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長 奥山 千鶴子 氏

子育て家庭を地域で支えるために必要な支援や環境(場)づくり等について、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業等の実践を含め、最新の情報をお話しいたします。

17:45~ **交流会** 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~12:00

講義 妊娠期から思春期まで包括的に子育て家庭を支援する
～子育て世代包括支援センターがつなぐ
地域の子育て支援ネットワーク～

公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏

子育て世代包括支援センターには、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の確保や、利用者目線に立ったすべての妊産婦への必要な支援が求められています。

子育て世代包括支援センターを中心とした地域の保険・医療・福祉など関係機関の連携強化など、安心して子育てができる地域づくりについてお話しいたします。

13:00~14:10

事例紹介 富山市子育て世代包括支援センターについて

富山市子ども家庭部子ども健康課 課長代理 河原 歩 氏

コーディネーター:公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏

子育て世代包括支援センターを中心とした切れ目ない支援による安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりの推進や産後ケアの取り組みについて紹介いたします。

14:25 ~17:00

演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム(グループ討議)

公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏

2日間の講義・事例紹介などから学んだことを踏まえて、各自の持ち寄り事例をもとに現場の課題を共有し、その対応策についてグループで討議します。

17:00~ **課外学習**

9:25~12:00

演習 持ち寄り事例による課題解決フォーラム(発表・講評)

公益社団法人母子保健推進会議 会長 佐藤 拓代 氏

グループごとに討議した内容や課題解決に向けた取組案を発表します。その後、講師より講評をいただき、3日間の研修のまとめとします。

12:00~12:30 **ふりかえり、研修アンケート記入、閉講**

令和3年

8月

18日(水)

令和3年

8月

19日(木)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。